

## 第4章 ゾーン別の強化方針

---

この章では、地域ごとの特性を踏まえて東西に長いはぐくみの軸のゾーン分けを行い、その上で、ゾーン別の「現状と課題」「強化の考え方」「将来像イメージ」を示します。

## 4-1. ゾーン区分の設定

はぐくみの軸は東西に約2.5kmの長さがあるため、地域ごとに異なる特性を有しています。その特性を踏まえながら、それぞれの魅力を高めていくことで相乗効果を生み出し、はぐくみの軸全体の価値を向上させていくため、現状の沿道施設の立地状況や第2次都心まちづくり計画の考え方などから、はぐくみの軸を4つのゾーンに区分けしました。

### 西Cゾーン

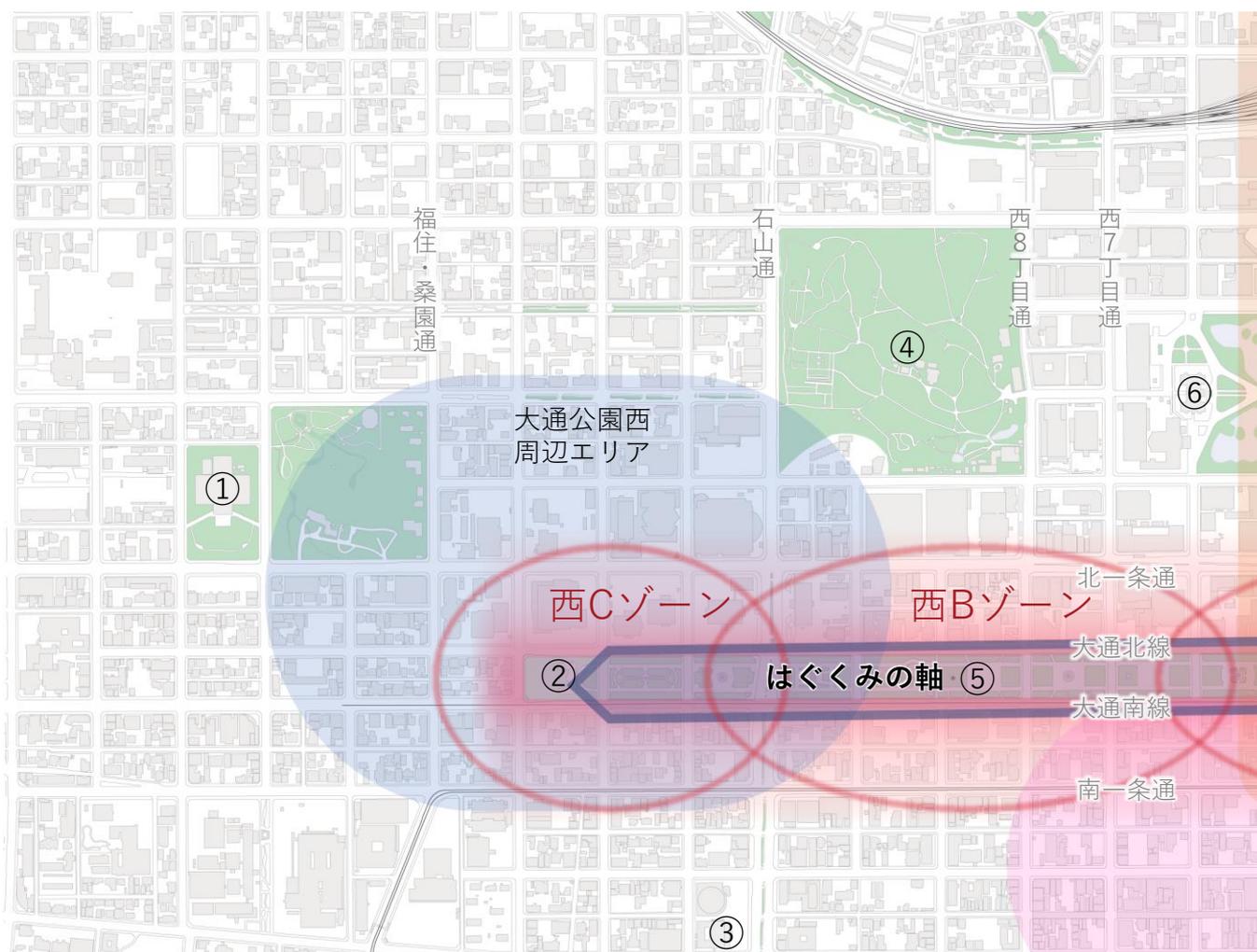
(概ねの位置：はぐくみの軸西端～石山通)

周辺を含めて文化芸術施設・歴史的資源や集客交流施設が立地しているとともに、地下鉄駅・路面電車・バスの停留所が近接しており、交通利便性が高いゾーン

### 西Bゾーン

(概ねの位置：石山通～西6丁目)

多くの子どもが利用する大通公園の「遊び・イベントゾーン」を含み、沿道にはオフィス・集合住宅・ホテル・教育施設などが立地し、多様な土地利用となっているゾーン



### ■ゾーン範囲周辺の施設



①北海道立近代美術館



②札幌市資料館



③中央区複合庁舎  
(予定)



④北海道大学植物園



⑤ブラック・スライド・マントラ

## 西Aゾーン

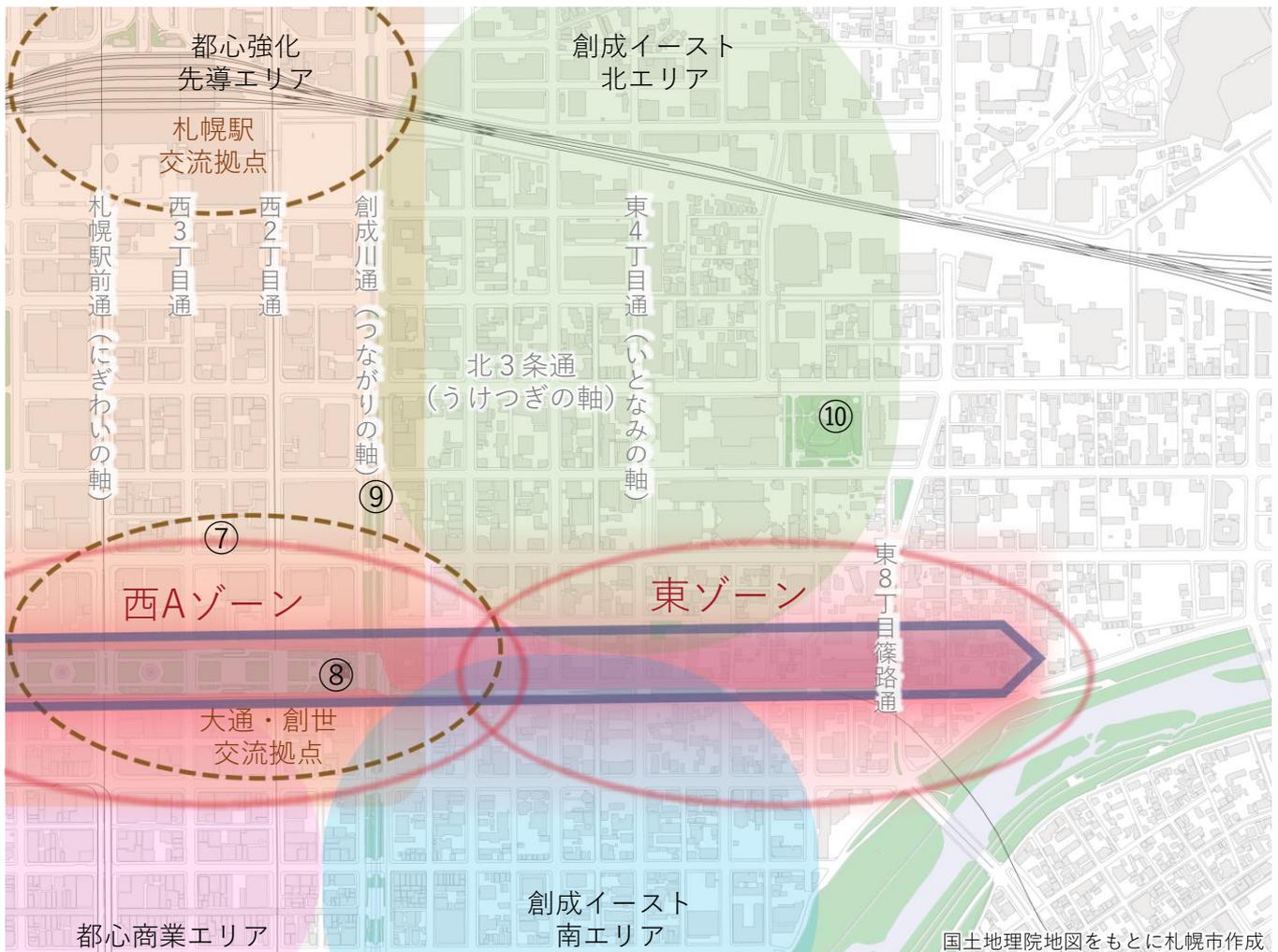
(概ねの位置：にぎわいの軸・つながりの軸と  
大通・創世交流拠点を含むエリア)

第2次都心まちづくり計画で「大通・創世交流拠点」として位置付けているほか、「都心強化先導エリア」「都心商業エリア」の一部を含んでおり、都心の中でもビジネス・行政・商業といった都市機能の中心的役割を担っているゾーン

## 東ゾーン

(概ねの位置：大通・創世交流拠点より東側)

共同住宅の建設が進んでいる一方で、公園や公共的空間が不足しており、また、青空駐車場といった低未利用地が多いゾーン



⑥北海道庁旧本庁舎



⑦札幌時計台



⑧さっぽろテレビ塔



⑨創成川公園



⑩旧永山武四郎邸

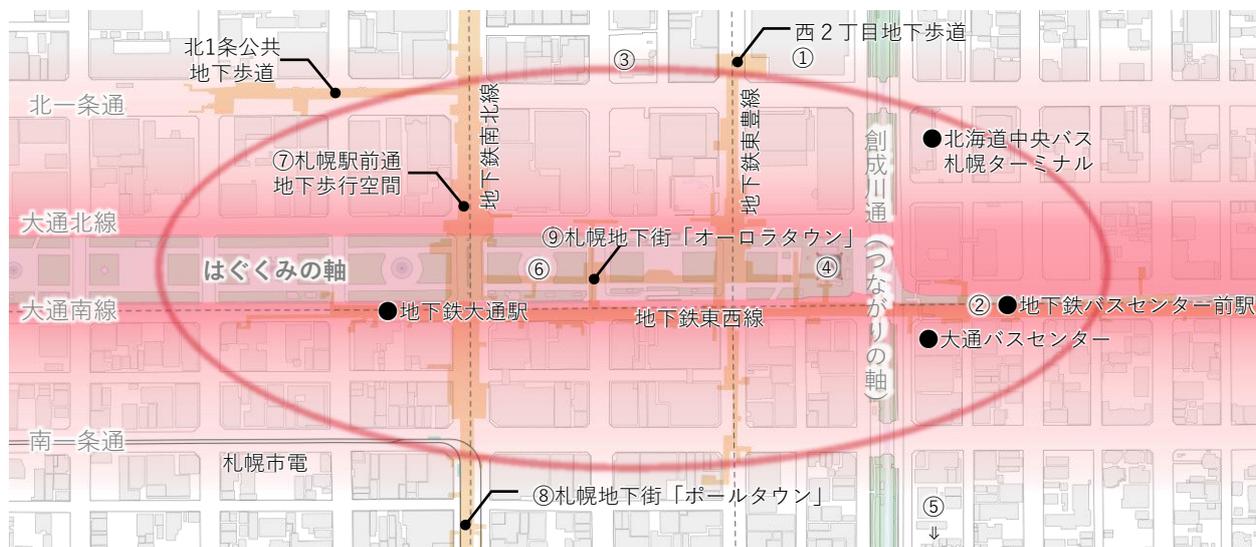
上記写真全て <資料>札幌市

## 4-2. ゾーン別の現状と課題、強化の考え方

ここでは4つに分けたゾーン毎にまちの特性や主な課題を分析し、「強化の考え方」を設定します。

### ■ ゾーン周辺図

#### 西Aゾーン



①札幌市民交流プラザ



②札幌大通地下ギャラリー500m美術館



③札幌市時計台



④さっぽろテレビ塔



⑤二条市場



⑥大通公園西3丁目・噴水



⑦札幌駅前通地下歩行空間



さっぽろ地下街（左：⑧ポールタウン、右：⑨オーロラタウン）



上記写真全て <資料>札幌市

## ■ ゾーン特性 ●●●: 関連する将来像のキーワード

- 札幌市民交流プラザや札幌大通地下ギャラリー500m美術館など文化芸術施設が立地している。●**創造と交流の好循環**
- 札幌市時計台、さっぽろテレビ塔など札幌を象徴する歴史的資源、景観資源が立地している。  
●**象徴性の継承** ●**資源を活かした景観**
- 二条市場などの地域資源がある。●**象徴性の継承**
- 噴水などの水景施設が大通公園の各街区を特徴づけている。●**象徴性の継承**
- 創成川通アンダーパス連続化事業に伴い創成川公園や創成川の東西市街地を繋ぐ道路が整備され、創成川より西側から東側への人の流れを創出する基盤が形成されている。●**象徴性の継承**
- 地区計画や地域が主体となって策定したまちづくりガイドラインにより土地利用などの方針が示され、今後の機能更新が期待される街区がある。●**創造と交流の好循環**
- 地下歩行空間、地下街などが展開し、地下の回遊性を有する空間となっている。●**ユニバーサルなまち**
- 北海道内各所と繋がるバスターミナル機能や市内各地への交通アクセスが充実している。●**円滑な移動環境**
- 北海道新幹線が札幌駅まで延伸される。●**円滑な移動環境**
- 地下鉄駅や路面電車・バスの停留場が近接しており、交通結節点<sup>29</sup>になっている。●**円滑な移動環境**
- 面的なエネルギーネットワークの整備が進められている。●**脱炭素化の推進**
- 一時避難場所としての大通公園や、一時滞在施設及び大規模地下緊急一時避難施設としてのさっぽろ地下街・札幌駅前通地下歩行空間などがある。●**防災機能の強化**

## ■ 第2次都心まちづくり計画上の位置づけ

- 「大通・創世交流拠点」に位置づけられ、札幌の都市文化を発信・体感する拠点機能の展開などを目指している。

## ■ 主な課題 ●●●: 関連する将来像のキーワード

- 札幌駅前通と大通の交点であり、象徴的空間として強化していく必要がある。●**象徴性の継承** ●**創造と交流の好循環**
- 札幌を象徴する歴史的資源としての札幌市時計台が立地しているが、大通公園とのつながりが弱い。  
●**象徴性の継承**
- 沿道から南北へ展開する回遊性が不足している。●**象徴性の継承**
- 西側から繋がっている大通公園は創成川までで途切れており、創成川より東側への公共的空間の連続性が途切れている。●**創造と交流の好循環**
- 大通公園と沿道の空間的な一体感に欠け、利活用及びにぎわいの連続性が不足している。●**象徴性の継承** ●**魅力あるライフスタイル** ●**居心地がよく歩きたくなるまち**
- 大通公園を中心とした区域は、景観計画重点区域、風致地区及び都市公園区域として、沿道建物の位置、規模及び外壁の色彩、屋外広告物並びに敷地内の緑化などの基準があるが、より良好な景観形成に向けた検討の余地がある。●**資源を活かした景観**
- 屋外広告物の掲出にあたっては、大通地区の特性を踏まえ、先行する他の整備地区（札幌駅周辺地区など）との比較において、より抑制的な掲出とすることが望ましい。●**資源を活かした景観**
- 路上駐車が多く、自転車通行空間をふさぐなどの支障が生じている。●**円滑な移動環境**
- エネルギーネットワークを、沿道建物へさらに拡充していく必要がある。●**脱炭素化の推進**

## 強化の考え方

はぐくんできた価値と新しい価値が融合した  
**世界に誇れる価値を創造する象徴的な拠点をはぐくむ**

<sup>29</sup> 【交通結節点】複数・異種の交通手段の接続が行われる場所。

## ■強化の考え方

はぐくんできた価値と新しい価値が融合した  
世界に誇れる価値を創造する象徴的な拠点をはぐくむ

## ■想定される主な取組例 ※ゾーン毎に想定される主な取組例の一覧は55ページ以降を参照



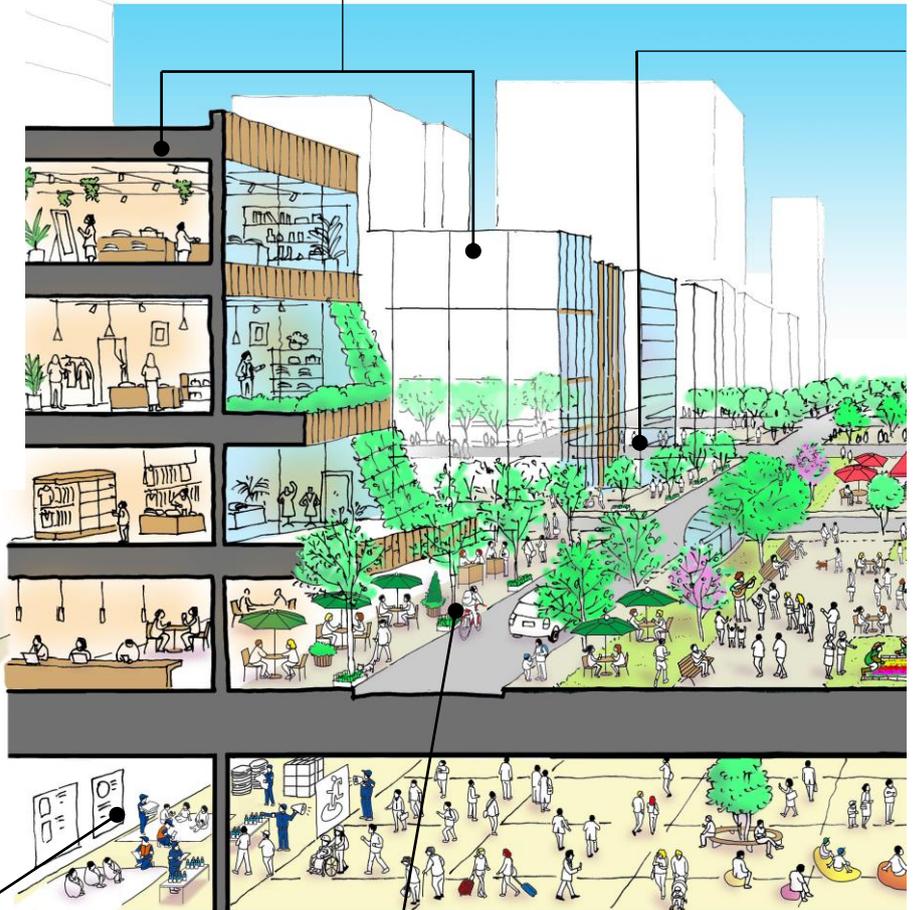
- 【象徴性の継承】  
●歴史的資源※の保存と活用



※札幌市時計台



- 【資源を活かした景観】  
●新築建物における大通公園や大通沿道の環境、そこでの活動に配慮した配棟の計画  
(壁面セットバックを用いた大通公園や歴史的資源への配慮など)  
●新築建物における街並みと調和した建物の表情線の創出  
(隣接建物と調和した低層部の軒高やオープンスペースの創出など)



- 【居心地がよく歩きたくなるまち】  
●歩行者動線と錯綜しない、共同荷さばきのためのスペースや動線の確保



- 【防災機能の強化】  
●災害時に活用できる公共的空間の創出  
●エリアマネジメント団体による防災訓練の実施

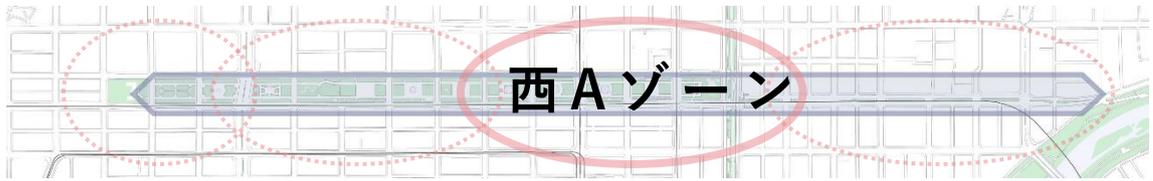


- 【連続的につながるみどり】  
●みどりととの繋がりを創出するための中低層部の設えの工夫



- 【象徴性の継承】  
●沿道建物低層部を活用した賑わい創出  
(オープンカフェや屋外テラスの配置など)

街区・道路・公園の一体感を



# 西Aゾーン



### 【創造と交流の好循環】

- 周辺街区も含めた機能を高める市有地の利活用の検討 (大通西1丁目、大通西2丁目街区など)
- 既存の資源を活かした市民の憩いや賑わいの創出に資する空間の形成 (札幌市時計台、さっぽろテレビ塔、大通公園、創成川公園など)



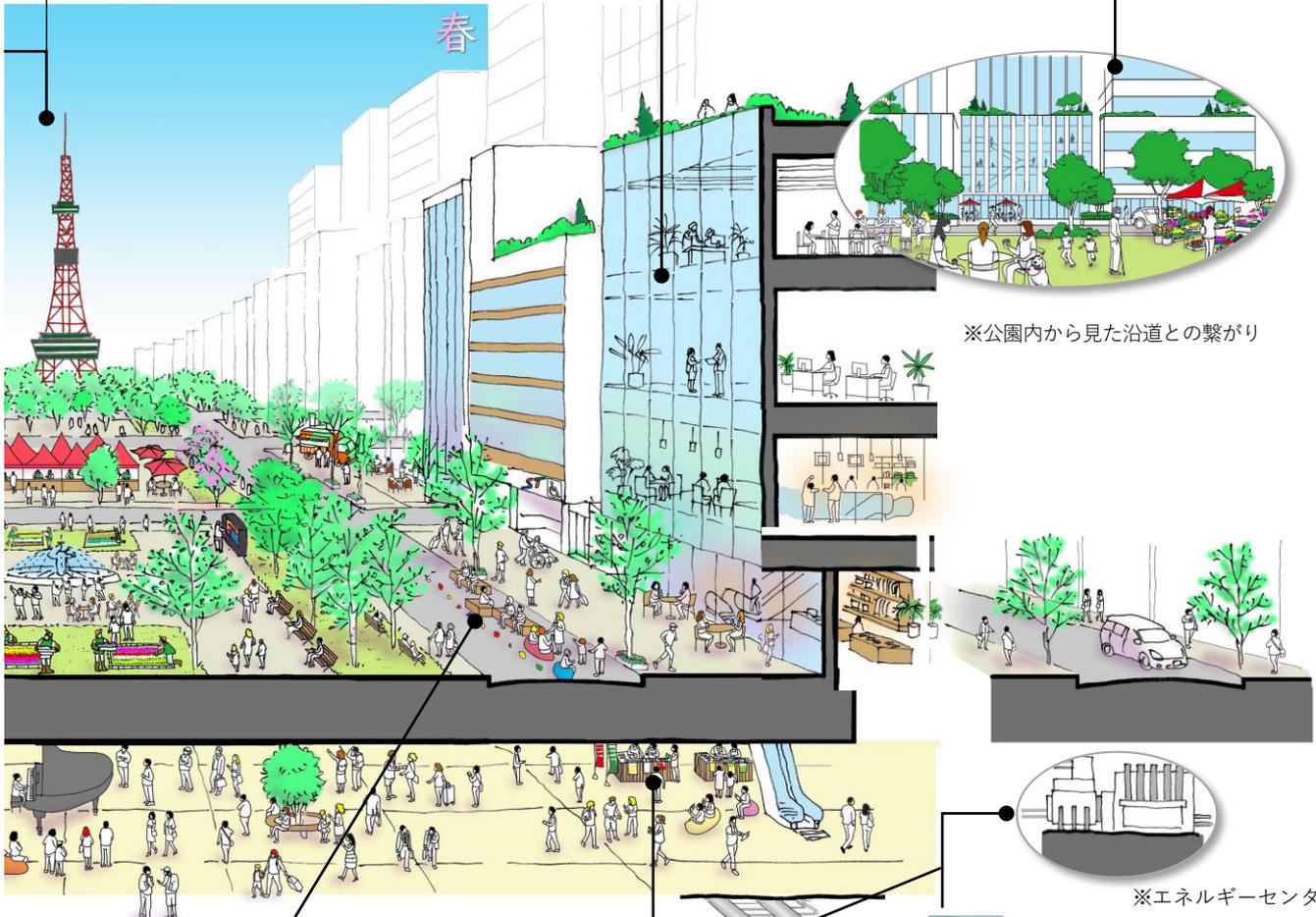
### 【創造と交流の好循環】

- 建物の更新に合わせた用途の複合化やまちの魅力を高める機能の集積
- 大通公園に面した街区らしい働き方ができ、多様な人材を引き寄せる創造的なオフィス環境の整備



### 【象徴性の継承】

- 沿道建物から大通／大通公園までの空間を繋ぐ公共空間の創出や利活用 (民間開発の創意工夫による機能配置、民間開発等との連携によるみどりの創出など)



### 【協働によるまちづくり】

- 実現させたい施策を想定した、多様な関係者が参加した実証実験の実施



### 【居心地がよくなるまち】

- 道路空間の柔軟な利活用を想定した実証実験の実施



### 【ユニバーサルなまち】

- 建替等に合わせた地上と地下の往来時の利便性の向上 (地下の歩行者空間への接続箇所の新設、地上・地下出入口の建物への取込み など)



### 【脱炭素化の推進】

- 大規模開発の機会を捉えた面的エネルギーネットワークの構築、拡充 (低炭素な熱利用の促進など)
- エネルギーセンターを核としたAEMS<sup>31</sup>の導入の促進 (ICT<sup>32</sup>を活用した効率的な電力利用の促進など)

## 感じられる空間の形成

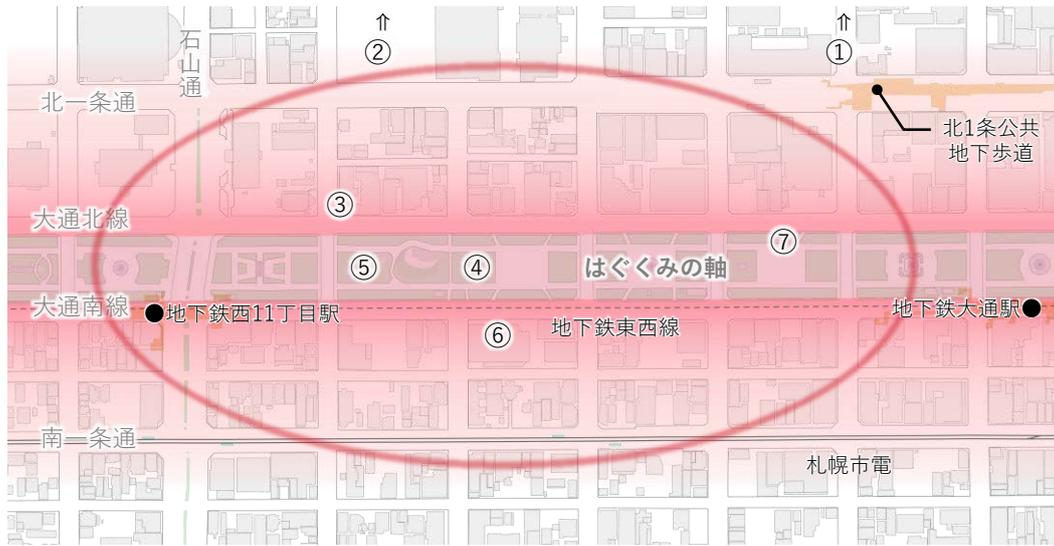
※上記イラストは想定される取組例を盛り込んだゾーン全体のイメージです

<sup>30</sup> 【エネルギーセンター】 建物ごとに設置している冷暖房のための熱源設備や熱源供給するコージェネレーション設備 (発電と同時にその際生じる排熱も同時に利用する熱電併給システム) を一か所に集約設置して、周辺の建物に冷水や温水などを供給する施設。

<sup>31</sup> 【AEMS】 Area Energy Management Systemの略。ICT技術を利用して、複数建物群(エリア)全体のエネルギー利用の最適化を図るための管理システム。

<sup>32</sup> 【ICT】 Information and Communication Technology ~ 情報通信技術。

■ ゾーン周辺図  
西Bゾーン



①北海道庁旧本庁舎



②北海道大学植物園



③沿道に並ぶ集合住宅・専門学校



④ブラック・スライド・マントラ



⑤遊水路



⑥大通公園沿道に立地するホテル



⑦大通公園6丁目・野外ステージ

上記写真全て <資料>札幌市

## ■ ゾーン特性 ●●●: 関連する将来像のキーワード

- 北側には北海道庁旧本庁舎、北海道大学植物園といった象徴的な都市機能が位置している。● **象徴性の継承**
- 共同住宅の建設や保育施設の整備が進み、教育施設も立地しており、都心居住の受け皿となっている。● **魅力あるライフスタイル**
- 大通公園の「遊び・イベントゾーン」では、子供連れや学生といった若い世代が集まり交流が生まれている。● **魅力あるライフスタイル**
- 大通公園西8丁目は、さっぽろ雪まつりやYOSAKOIソーラン祭りなどの大規模イベント時のメイン会場として活用され、イベントスペースとして機能しており、ホテルも立地している。● **魅力あるライフスタイル**
- 大通公園西6丁目の野外ステージは音楽イベントなどで活用され、文化芸術機能を発揮している。● **創造と交流の好循環**
- 路面電車の停留場が複数面しており、大通から南側のエリアとの接続の起点となっている。● **円滑な移動環境**
- 大通公園が一時避難場所として指定されている。● **防災機能の強化**
- 大通及びその周辺のビルは築年数の経過などを踏まえると、今後も個別の建替・利用継続が見込まれる。● **防災機能の強化**

## ■ 主な課題 ●●●: 関連する将来像のキーワード

- 大通公園と沿道の空間的な一体感に欠け、利活用及びにぎわいの連続性が不足している。● **象徴性の継承** ● **魅力あるライフスタイル** ● **居心地がよく歩きたくなるまち**
- 周辺の世帯数増加に伴い子供の人口も増加傾向にあるが、大通公園が、憩いと遊びの場として活用できる期間が十分ではない。● **魅力あるライフスタイル**
- 大通公園内のイベント時には、イベントの非利用者に対する動線の確保が課題となっている。● **魅力あるライフスタイル**
- 大通公園内のイベント時には、イベント建屋背面により、大通公園と沿道のつながりが薄れる。● **魅力あるライフスタイル** ● **連続的につながるみどり**
- 大通公園を中心とした区域は、景観計画重点区域、風致地区及び都市公園区域として、沿道建物の位置、規模及び外壁の色彩、屋外広告物並びに敷地内の緑化などの基準があるが、より良好な景観形成に向けた検討の余地がある。  
● **資源を活かした景観**
- 屋外広告物の掲出にあたっては、大通地区の特性を踏まえ、先行する他の整備地区（札幌駅周辺地区など）との比較において、より抑制的な掲出とすることが望ましい。● **資源を活かした景観**
- 路上駐車が多く、自転車通行空間をふさぐなどの支障が生じている。● **円滑な移動環境**

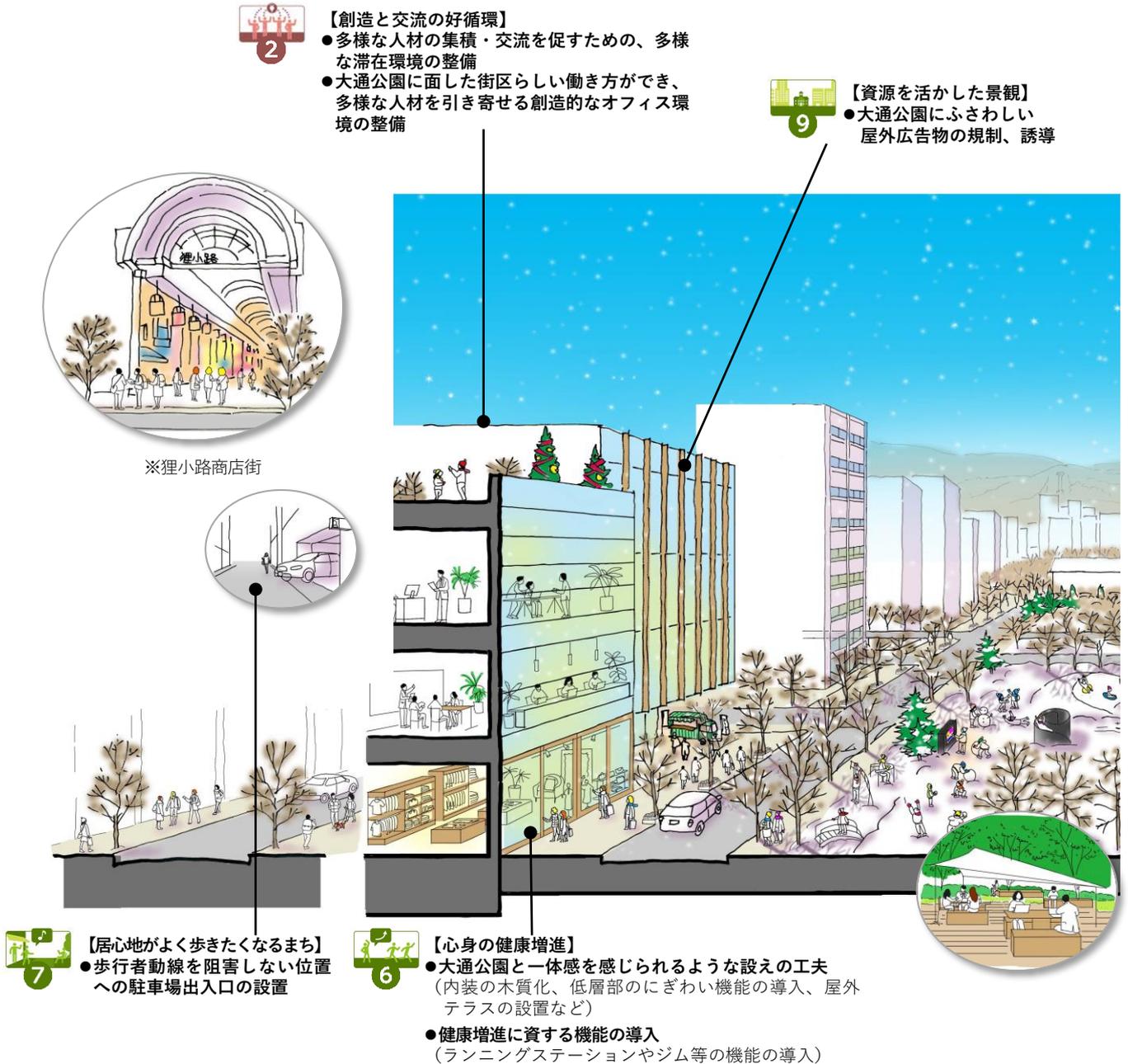
## 強化の考え方

居住とビジネスが共存し、まちに開かれた沿道空間と大通公園に多世代が集う  
**都心の新しいライフスタイル・ワークスタイルをはぐくむ**

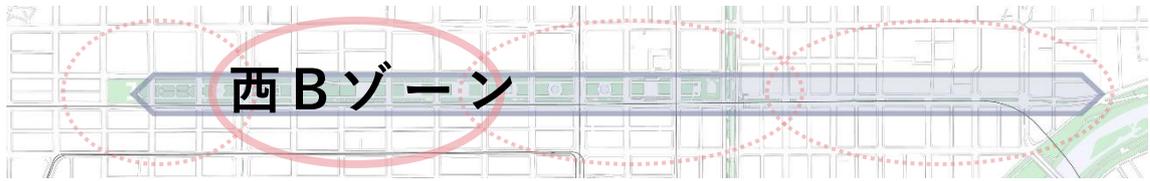
## ■強化の考え方

居住とビジネスが共存し、まちに開かれた沿道空間と大通公園に多世代が集う  
**都心の新しいライフスタイル・ワークスタイルをはぐくむ**

### ■想定される主な取組例 ※ゾーン毎に想定される主な取組例の一覧は55ページ以降を参照



街区・道路・公園の一体感を



# 西Bゾーン



- 【魅力あるライフスタイル】**
- イベント開催時の大通公園と周辺の公共的空間との一体的な活用
  - 道路空間などを活用した実証実験 (イベント時の公園と道路の一体的な活用のための実証実験など)
  - 大通公園の在り方\*検討  
※日常利用とイベント利用の使い分け、公園の憩い機能を発揮する、公園敷地内外の空間形成など



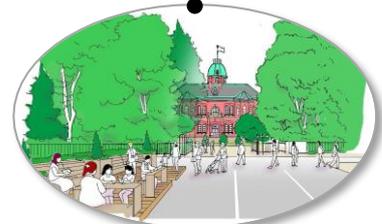
- 【円滑な移動環境】**
- 路上駐車対策などによる自転車が安全に通行できる空間の確保



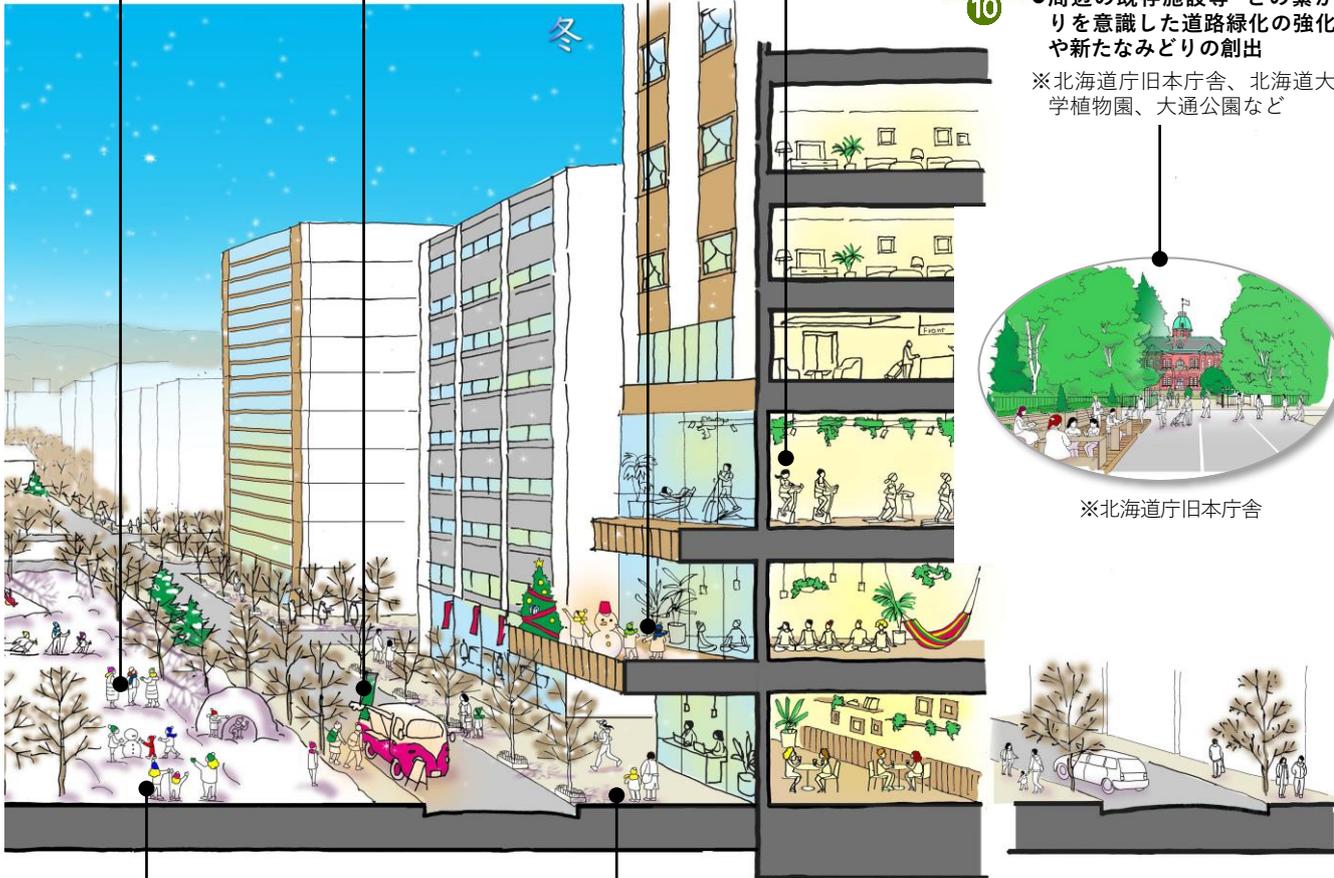
- 【象徴性の継承】**
- 沿道建物低層部を活用した賑わい創出 (オープンカフェや屋外テラスの配置など)
  - 沿道建物から大通/大通公園までの空間を繋ぐ公共空間の創出や利活用 (民間開発の創意工夫による機能配置、民間開発等との連携によるみどりの創出など)
- 【心身の健康増進】**
- 建物の内部の活動が見える設えと使い方の工夫 (屋内緑化によるみどりの連続性の創出など)



- 【連続的につながるみどり】**
- 周辺の既存施設等\*との繋がりを意識した道路緑化の強化や新たなみどりの創出  
※北海道庁旧本庁舎、北海道大学植物園、大通公園など



※北海道庁旧本庁舎



- 【協働によるまちづくり】**
- 新たなエアリアマネジメント団体組成の促進
  - 地域主体のまちづくり活動の促進  
(地権者間のまちづくり検討支援、市民・企業と連携した緑化促進など)

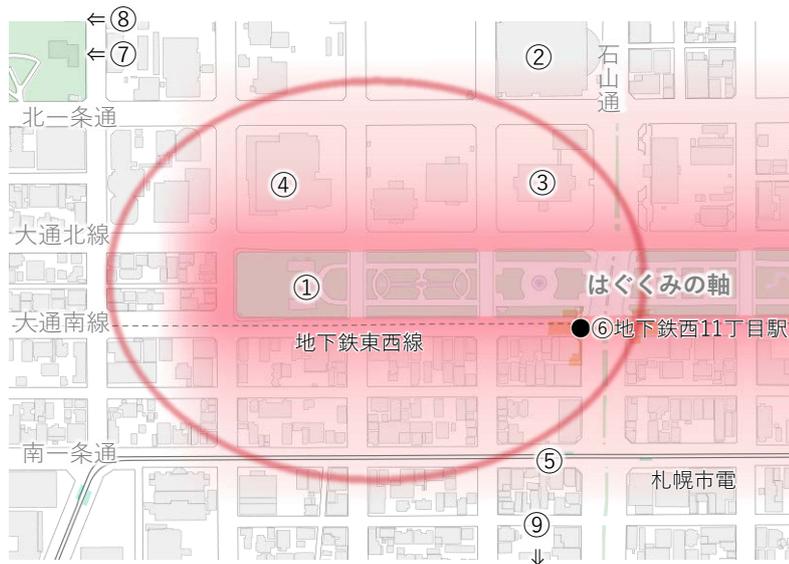


- 【心身の健康増進】**
- 歩行時の障害となる部分の改良 (建物や移動経路のバリアフリー化など)
  - 季節を問わず通れる空間の整備 (屋外のピロティ空間整備、隣接する建物間の接続などの屋内の連続的な歩行空間整備など)

## 感じられる空間の形成

※上記イラストは想定される取組例を盛り込んだゾーン全体のイメージです

■ ゾーン周辺図  
西Cゾーン



①札幌市資料館と前面に広がるサンクガーデン



②周辺に立地するホテル



③札幌高等裁判所



④札幌市教育文化会館



⑤路面電車 中央区役所前停留場



⑥地下鉄出入口 (西11丁目駅)



⑦北海道立近代美術館



⑧北海道知事公館



⑨中央区複合庁舎 (予定)

上記写真全て <資料>札幌市

## ■ ゾーン特性 ●●●: 関連する将来像のキーワード

- 札幌市資料館、大通公園のサンクガーデンなど歴史的資源、景観資源がある。●**象徴性の継承** ●**資源を活かした景観**
- 敷地規模が大小様々で、かつ多様な用途の建物が集積しており、今後も多様な都市機能が集積していく素地が構築されている。●**創造と交流の好循環**
- 大通公園の北側は比較的大きな敷地規模の行政施設が集積している一方、南側は比較的小規模な敷地の多様な用途の建物が集積しており、南北で違う特性をもつ都市機能が集積している。●**創造と交流の好循環**
- 中央区役所などの公共施設や文化芸術施設のほか、集客交流施設が複数立地している。●**創造と交流の好循環**
- 知事公館や北海道立近代美術館などの緑のかたまりに近接している。  
●**象徴性の継承** ●**連続的につながるみどり**
- 地下鉄駅、路面電車・バスの停留所が近接しており、交通利便性が高い。●**円滑な移動環境**
- 大通公園が一時避難場所として指定されている。●**防災機能の強化**
- 札幌市教育文化会館が指定避難所として指定されている。●**防災機能の強化**

## ■ 第2次都心まちづくり計画上の位置づけ

- 「大通公園西周辺エリア」に位置づけられ、集客交流機能の強化や、文化芸術・歴史的資源の都市観光などへの活用を目指している。

## ■ 主な課題 ●●●: 関連する将来像のキーワード

- 大規模な公有地が大通公園に面して立地しているが、駐車場利用などにより公園とまちの一体感が薄い。  
●**創造と交流の好循環**
- 大通公園と沿道の空間的な一体感に欠け、利活用及びにぎわいの連続性が不足している。●**象徴性の継承**●**魅力あるライフスタイル**●**居心地がよく歩きたくなるまち**
- 地域主体のまちづくりなど、一体感をもったまちづくりの動向が無い。●**協働によるまちづくり**
- 大通公園を中心とした区域は、景観計画重点区域、風致地区及び都市公園区域として、沿道建物の位置、規模及び外壁の色彩、屋外広告物並びに敷地内の緑化などの基準があるが、より良好な景観形成に向けた検討の余地がある。●**資源を活かした景観**
- 屋外広告物の掲出にあたっては、大通地区の特性を踏まえ、先行整備地区（札幌駅周辺地区など）との比較において、より抑制的な掲出とすることが望ましい。●**資源を活かした景観**
- 北海道／札幌の重要な公共拠点施設が立地しており高い防災性が求められるが、エリアとしてのBCP<sup>33</sup>対策はない。●**防災機能の強化**

## 強化の考え方

都心西側の回遊拠点を形成し  
**美しいみどりや歴史・文化芸術を活かした多様な交流をはぐくむ**

<sup>33</sup> 【BCP】 Business Continuity Planning～事業継続計画。

## ■強化の考え方

都心西側の回遊拠点を形成し  
美しいみどりや歴史・文化芸術を活かした多様な交流をはぐくむ

### ■想定される主な取組例 ※ゾーン毎に想定される主な取組例の一覧は55ページ以降を参照



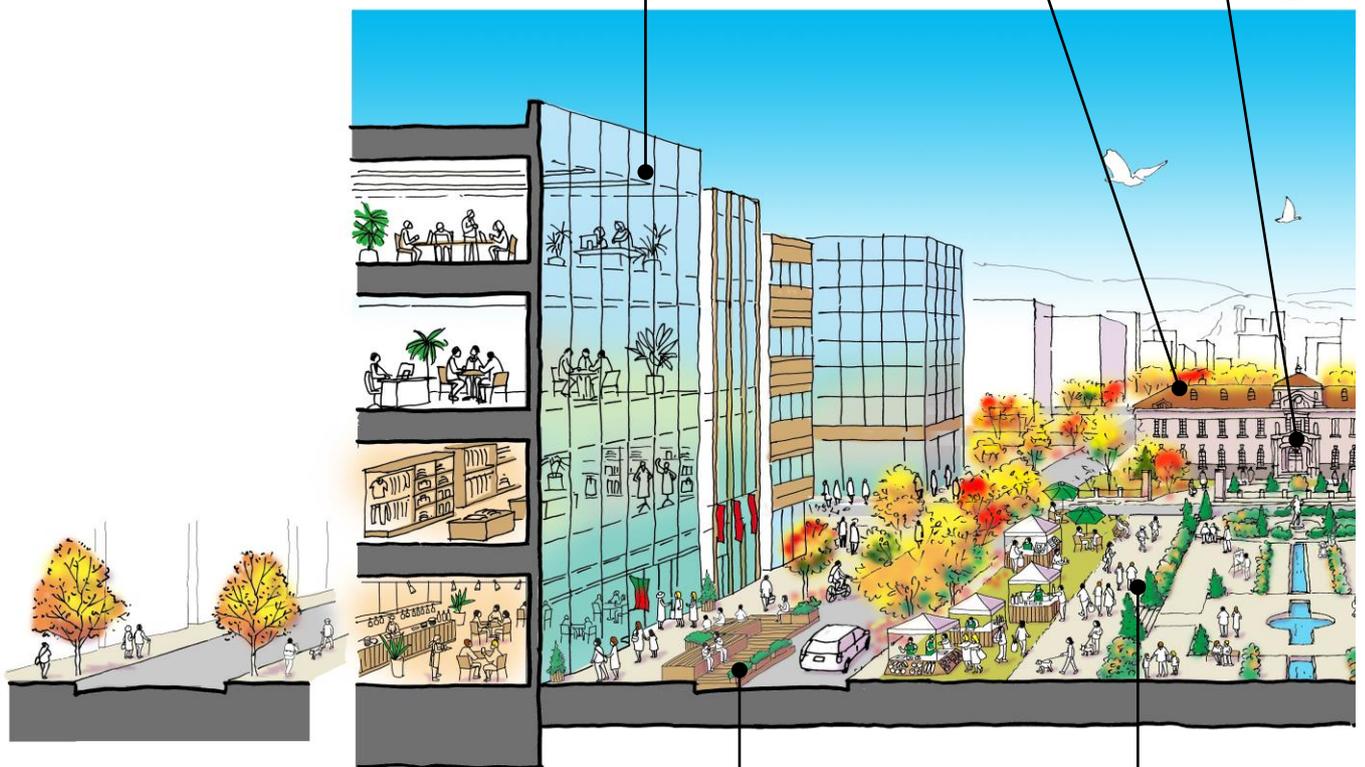
#### 【資源を活かした景観】

- 街並みや歴史的資源※などと調和した建物外観デザインの工夫  
※札幌市資料館、大通公園のサンクガーデンなど



#### 【象徴性の継承】

- 周辺の資源※を活かした都市空間の形成 ※札幌市資料館

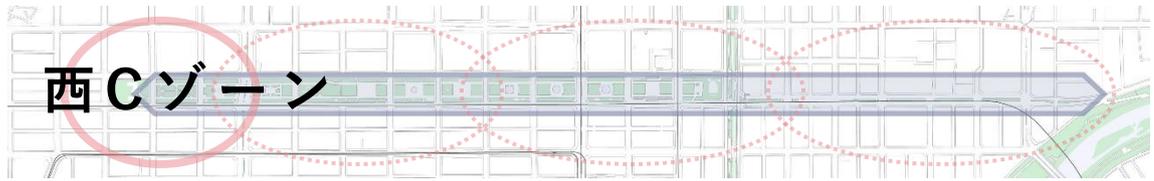


- #### 【居心地がよく歩きたくなるまち】
- 道路空間の柔軟な利活用を想定した実証実験の実施



- #### 【心身の健康増進】
- いつでも座って休むことができる場所の創出  
(一定間隔でのベンチの設置など)

街区・道路・公園の一体感を



【連続的につながるみどり】

- みどりととの繋がりを創出するための中低層部の設えの工夫
- 大通と沿道との繋がりを強化する街路樹などのみどりの強化
- 一体感のあるみどりを創出する民間開発や公園などとの連携



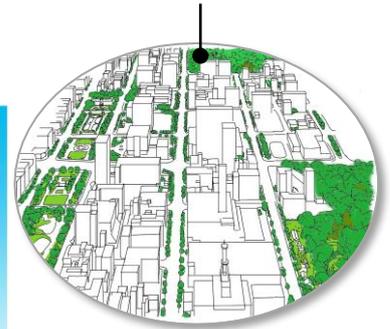
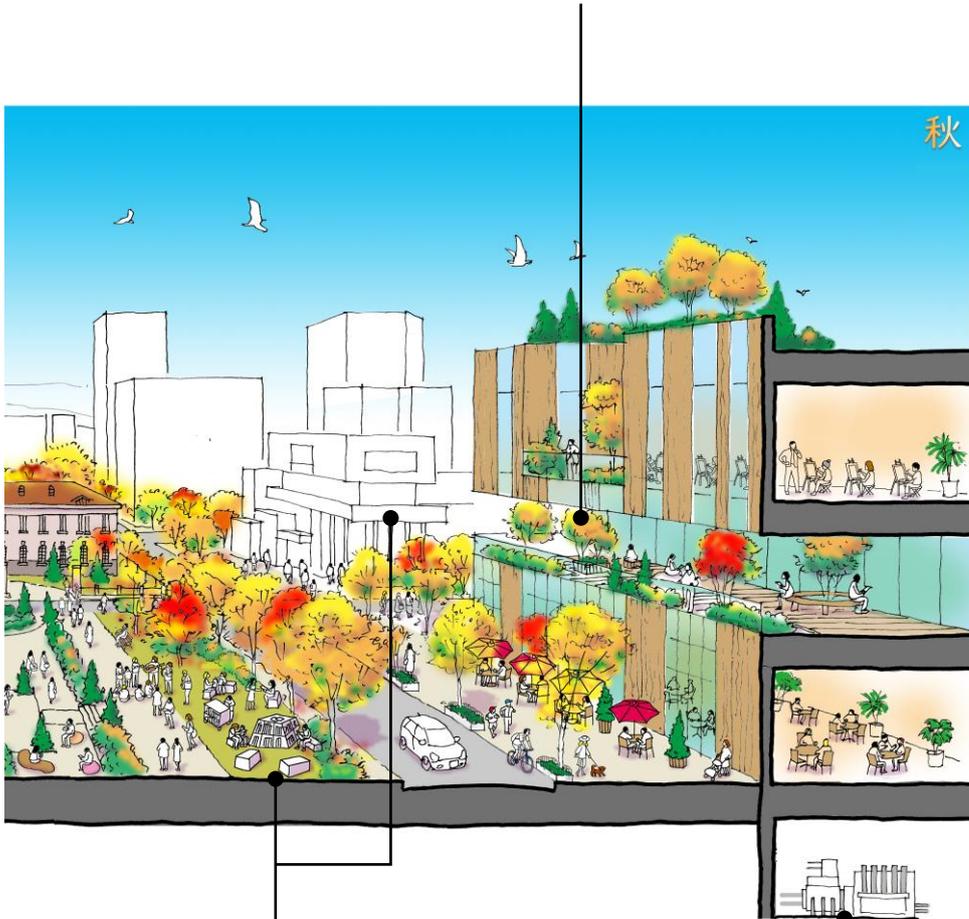
【連続的につながるみどり】

- 周辺の既存施設等<sup>※</sup>との繋がりを意識した道路緑化の強化や新たなみどりの創出
- ※北海道知事公館や北海道立近代美術館など



【創造と交流の好循環】

- 周辺の集客交流施設同士の機能的な連携
- 市有地の利活用



※北海道大学植物園などの大通公園周辺のみどり



※コージェネレーション<sup>34</sup>システム



【創造と交流の好循環】

- 既存施設<sup>※</sup>を活かした文化芸術活動の促進
- ※札幌市教育文化会館など
- 周辺の集客交流施設同士の機能的な連携



【脱炭素化の推進】

- 再生可能エネルギー<sup>35</sup>や未利用エネルギーの積極的な活用
- (再エネ発電設備の設置やCGS排熱利用など)
- 地域材を積極的に取り入れた建物内外装の木質化

感じられる空間の形成

※上記イラストは想定される取組例を盛り込んだゾーン全体のイメージです

<sup>34</sup> 【コージェネレーション】発電と同時にその際生じる排熱も同時に利用する熱電併給システム。

<sup>35</sup> 【再生可能エネルギー】太陽光、地熱、風力、水力、雪冷熱など、エネルギー源として永続的に利用することができるものの総称。

■ ゾーン周辺図

東ゾーン



①青空駐車場



②中小規模の住宅・事務所ビル



③あそぶべ公園



④旧永山武四郎邸



⑤旧三菱鉱業寮



⑥歴史的建造物を活かした商業施設

上記写真全て <資料>札幌市

## ■ ゾーン特性 ●●●: 関連する将来像のキーワード

- 地下鉄コンコースが大通東5丁目まで伸びている。● **象徴性の継承**
- 東4丁目通の整備により、地域内の南北の歩行環境の向上が図られる予定である。● **象徴性の継承**
- 歴史的建造物を活かした商業施設や旧永山武四郎邸などの地域資源がある。● **象徴性の継承**
- 低未利用地が多く今後の土地利用転換が期待される。● **創造と交流の好循環**
- 創成川より西側と比較して地価水準が低く、賃料負担力にとられない機能導入が可能である。  
● **創造と交流の好循環**
- 共同住宅の建設や保育施設の整備が進み、都心居住の受け皿となっている。● **創造と交流の好循環**
- 民間団体や行政により、イベント開催や実証実験など、公共的空間を活用し、まちの魅力・活力を高めていく試みがなされている。● **協働によるまちづくり**
- 豊平川において、河川区域の利活用を目指した市民による取組が進められている。● **協働によるまちづくり**
- 北海道新幹線が札幌駅まで延伸される。● **円滑な移動環境**
- 都心エネルギープランで、小規模な建物を含めて都心にふさわしい先進的な取組により低炭素化を推進するエリアとして位置づけられている。● **脱炭素化の推進**
- 都心エネルギープランで、熱供給ネットワーク促進エリアとして、将来的に面的なエネルギーネットワークを構築するエリアとして位置づけられている。● **脱炭素化の推進**
- 中央小学校が基幹指定避難場所となっている。● **防災機能の強化**

## ■ 第2次都心まちづくり計画上の位置づけ

- 「創成東地区」に位置付けられ、都心の利便性を享受できるような職・住・遊近接の暮らしの場と、起業などにより地区の新たな活力を創造する取組の推進を目指している。

## ■ 主な課題 ●●●: 関連する将来像のキーワード

- 周辺の世帯数増加に伴い子供の人口も増加傾向にあるが、遊びに利用できるスペースが十分ではない。  
● **創造性**
- 駐車場の出入口が沿道に多数存在している。● **居心地がよく歩きたくなるまち**
- 近接する歴史的資源を活かすなど、景観的な視点からも方向性を位置づけることが望まれる。● **資源を活かした景観**
- 安全確保計画に定められている一時滞在施設などがバスセンター駅前の地下鉄コンコースのみである。  
● **防災機能の強化**

## 強化の考え方

創成川より西側の活力を引き込み創成東地区の資源を活かした  
**創造性豊かな職・住・遊環境と**  
**人にやさしく歩きたくなるまちなかをはぐくむ**

## ■強化の考え方

創成川より西側の活力を引き込み創成東地区の資源を活かした  
**創造性豊かな職・住・遊環境と**  
**人にやさしく歩きたくなるまちなかをはぐくむ**

## ■想定される主な取組例

※ゾーン毎に想定される主な取組例の一覧は55ページ以降を参照



### 【協働によるまちづくり】

- 既存のエリアマネジメント団体の活動の促進
- 低未利用地の利活用  
(実証実験の場や公共的空間など)



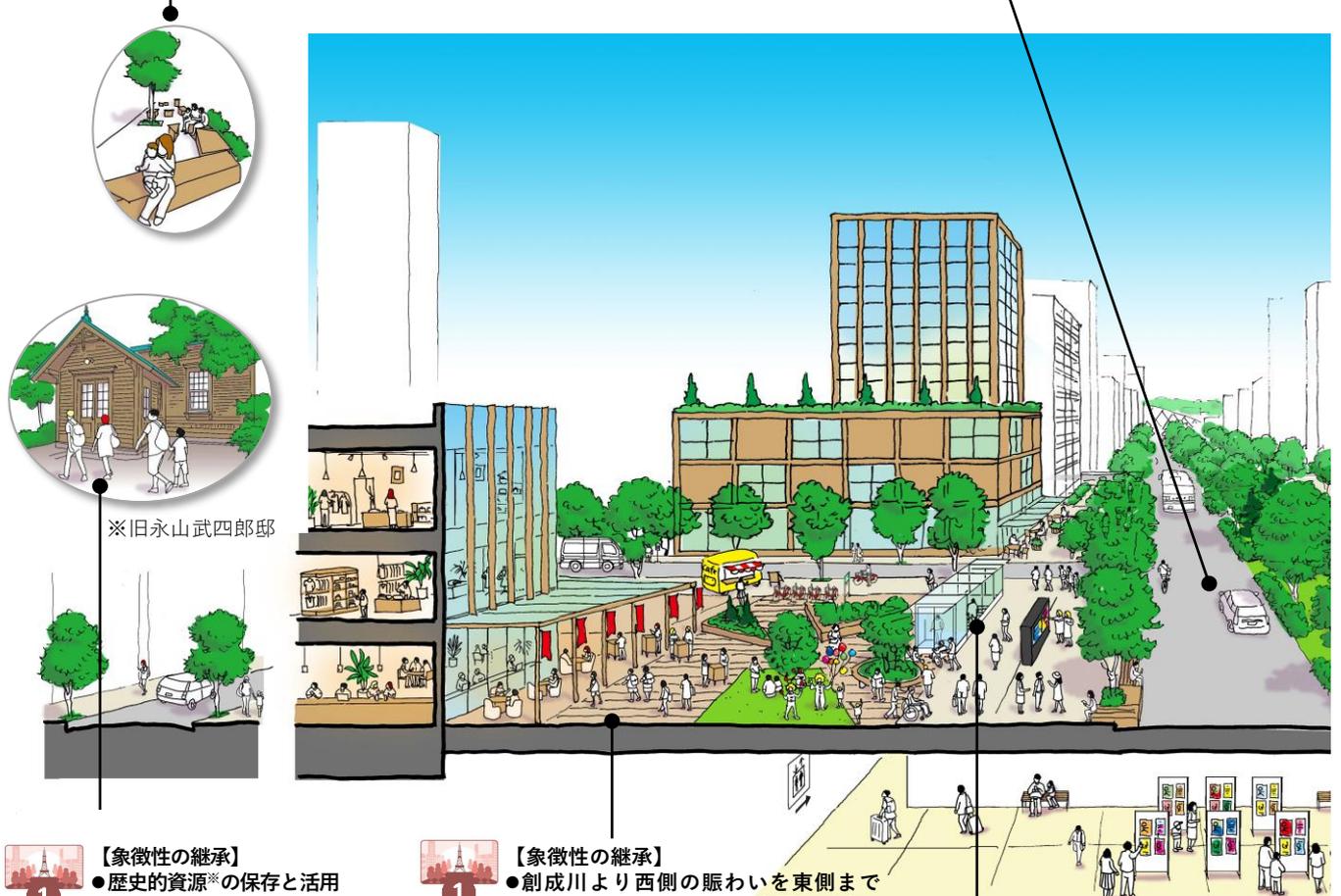
### 【居心地がよく歩きたくなるまち】

- 道路空間の柔軟な利活用を想定した実証実験の実施



### 【円滑な移動環境】

- 新幹線開業を見据えた創成川より東側地域の回遊性向上を目的とした公共交通システムの検討



※旧永山武一郎邸



### 【象徴性の継承】

- 歴史的資源\*の保存と活用  
※旧永山武一郎邸  
及び旧三菱鉱業寮など



### 【象徴性の継承】

- 創成川より西側の賑わいを東側まで波及させる連続性のある空間の形成



### 【創造と交流の好循環】

- 大通公園東側を象徴する新たなオープンスペースの創出 (魅力的な働く環境としての屋外空間など)



### 【魅力あるライフスタイル】

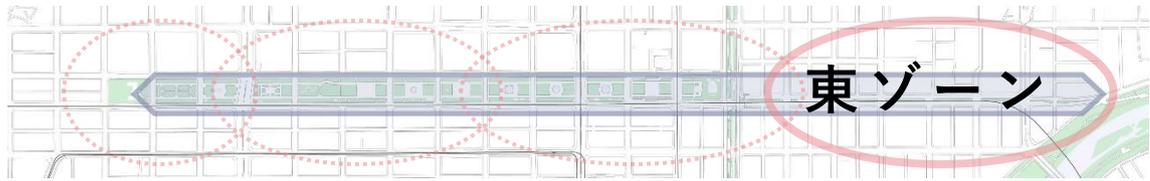
- 東ゾーンで不足する滞留や憩いのための空間としての公共的空間の創出



### 【ユニバーサルなまち】

- 建替等に合わせた地上と地下の往来時の利便性の向上  
(地下の歩行者空間への接続箇所の新設、地上・地下出入口の建物への取込み など)
- 案内サイン等による利便性の向上

街区・道路・公園の一体感を



**【象徴性の継承】**

- 沿道建物低層部を活用した賑わい創出  
(オープンカフェや屋外テラスの配置など)
- 沿道建物から大通/大通公園までの空間を繋ぐ公共的空間の創出や活用  
(民間開発の創意工夫による機能配置、民間開発等との連携によるみどりの創出など)



**【連続的につながるみどり】**

- 大通公園、創成川公園の連続したみどりを創成川より東側まで波及させる連続性のある空間の創出



**【心身の健康増進】**

- 身体活動・運動の促進

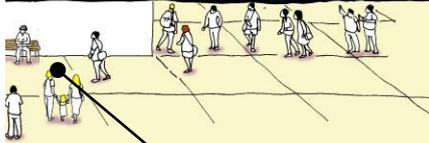


※豊平川河川敷



**【防災機能の強化】**

- 建物の耐震化の推進
- 地域主体の防災に関する取組の強化

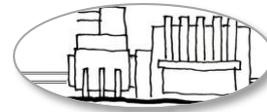


**【居心地がよく歩きたくなるまち】**

- 立ち止まって休憩ができる場所の創出  
(座って憩える快適な公共的空間の創出など)



※熱供給パイプライン



※エネルギーセンター



**【脱炭素化の推進】**

- 大規模開発の機会を捉えた面的エネルギーネットワークの構築、拡充  
(低炭素な熱利用の促進など)
- エネルギーセンターを核としたAEMSの導入の促進  
(ICTを活用した効率的な電力利用の促進など)

感じられる空間の形成

※上記イラストは想定される取組例を盛り込んだゾーン全体のイメージです

### 4-3. 将来像と取組の方向

ここでは、「ゾーン別の現状と課題、強化の考え方」を踏まえ、ゾーン毎に想定される主な取組例をまとめました。

## 1. 市民の愛着の醸成と魅力の発信



**将来像① 【象徴性の継承】**  
はぐくみの軸がもつ札幌都心の象徴性が継承されている

		ゾーン毎に想定される主な取組例			
		西C	西B	西A	東
取組の方向	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歴史的資源※の保存と活用</li> <li>※札幌市資料館</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歴史的資源※の保存と活用</li> <li>※札幌市時計台</li> <li>※旧永山武四郎邸及び旧三菱鉱業寮など</li> </ul>	
	b	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 沿道建物低層部の南北の通に面する部分へのにぎわい機能の導入</li> <li>● 周辺の資源※を活かした都市空間の形成</li> <li>※北海道知事公館や北海道立近代美術館などの周辺のまとったみどり</li> <li>※北海道庁日本庁舎</li> <li>※札幌市時計台</li> <li>● 創成川より西側のにぎわいを東側まで波及させる連続性のある象徴的な空間の形成</li> <li>● 狸小路のにぎわいと繋がる南北の回遊性の創出</li> <li>● 東4丁目の整備</li> </ul>			
	c	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 沿道建物低層部を活用したにぎわい創出 (オープンカフェや屋外テラスの配置など)</li> <li>● 沿道建物から大通/大通公園までの空間を繋ぐ公共空間の創出や利活用 (民間開発の創意工夫による機能配置、民間開発などの連携によるみどりの創出など)</li> <li>● 大通公園の在り方検討 (大通公園・道路・民間敷地が一体となったみどりの創出、大通公園と沿道が連携したにぎわい空間の創出など)</li> </ul>			



**将来像② 【創造と交流の好循環】**  
 はぐくみの軸ならでの文化・魅力・活力を創造することで  
 世界から投資や人材などを呼び込む好循環が形成されている

		ゾーン毎に想定される主な取組例			
		西C	西B	西A	東
取組の方向	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 低未利用地の利活用（実証実験の場や公共的空間など）</li> <li>● 既存の都市基盤施設の利活用（地下鉄コンコースでの展示活動など）</li> <li>● 市有地の利活用</li> </ul>			
	b	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市有地の利活用による複数街区での連鎖開発と相互連携を通じた新たな象徴空間の創出</li> <li>● 札幌市時計台、大通公園、創成川公園などの地域資源との連携を考慮した民間開発による文化・業務・商業などの多様な機能集積の促進</li> <li>● 大通公園東側の新たな公共的空間の創出（魅力的な働く環境としての屋外空間など）</li> <li>● 大通公園と札幌市時計台をつなぐ公共的空間の創出</li> <li>● 建物の更新に合わせた用途の複合化やまちの魅力を高める機能の集積</li> <li>● 多様な人材の集積・交流を促すための都心居住への対応</li> <li>● 既存施設※を活かした文化芸術活動の促進</li> <li>● 周辺の集客交流施設 同士の機能的な連携</li> <li>● 大通公園に面した街区らしい働き方ができ、多様な人材を引き寄せる創造的なオフィス環境の整備</li> </ul>			
	c	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大通公園の在り方検討（大通公園の回遊性の向上に向けた議論と検討、民間事業者と連携した公園整備手法の検討など）</li> <li>● 大通公園、創成川公園が持つ魅力を創成川より東側まで波及させる連続性のある空間の形成（西Aゾーンからの人の流れを引き込む連続的な公共的空間の創出など）</li> </ul>			



**将来像③ 【魅力あるライフスタイル】**  
はぐくみの軸らしい魅力あるライフスタイルが国内外に認識されている

		ゾーン毎に想定される主な取組例			
		西C	西B	西A	東
取組の方向	a	●大通公園との一体的利用を意識した公共空間の創出や活用		●複数街区間での連携を考慮した連鎖開発による屋内外での公共空間の創出 ●滞留や憩いのための空間としての公共空間の創出 ●市有地等を活用した公共空間の創出（大通西1丁目、大通西2丁目街区など） ●集積する資源同士のつながりを意識した公共空間の創出（札幌市時計台、大通公園、創成川公園など）	
	b	●沿道建物低層部へのにぎわい機能の導入（飲食店や物販店の配置など） ●沿道建物の内部の活動が見える設えの整備と使い方の工夫（ガラスを使用した壁面の透明化による開放感創出など）			
	c	●大通公園の在り方検討 （日常利用とイベント利用の使い分け、公園の憩い機能を発揮する、公園敷地内外の空間形成など） ●イベント開催時の大通公園と周辺の公共空間との一体的な活用 ●道路空間などを活用した実証実験 （イベント時の公園と道路の一体的な活用のための実証実験など）		●大通公園、創成川公園が持つ魅力を創成川より東側まで波及させる連続性のある空間の形成 （大通公園でのイベント時のにぎわいを引き込む公共空間の創出など）	



**将来像④ 【協働によるまちづくり】**  
時代の流れに柔軟に対応した市民・企業・行政などの協働によるまちづくりが進められている

		ゾーン毎に想定される主な取組例			
		西C	西B	西A	東
取組の方向	a	●実現させたい施策を想定した、多様な関係者が参加した実証実験の実施			
	b	●新たなエリアマネジメント団体組成の促進 ●地域主体のまちづくり活動の促進 （地権者間のまちづくり検討支援、市民・企業と連携した緑化促進など）		●既存のエリアマネジメント団体の活動の促進	

## II. より快適で豊かな暮らし



**将来像⑤ 【ユニバーサルなまち】**  
 大通公園や大通沿道の公共的空間などが  
 誰もが安心して利用できるユニバーサルな空間となっている

		ゾーン毎に想定される主な取組例			
		西C	西B	西A	東
取組の方向	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建替などに合わせた、建物や移動経路のバリアフリー化</li> <li>● 利用しやすい休憩場所の創出（屋内外の公共的空間へのベンチの設置など）</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建替などに合わせた地上と地下の往来時の利便性の向上（地下の歩行空間への接続箇所の新設、地上・地下出入口の建物への取込み など）</li> <li>● 案内サインなどによる利便性の向上（地下の歩行空間など）</li> </ul>			



**将来像⑥ 【心身の健康増進】**  
 訪れる人の心身の健康を増進させる環境が整っている

		ゾーン毎に想定される主な取組例			
		西C	西B	西A	東
取組の方向	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歩行時の障害となる部分の改良（建物や移動経路のバリアフリー化など）</li> <li>● 季節を問わず通れる空間の整備（屋外のピロティ空間整備、隣接する建物間の接続などの屋内の連続的な歩行空間整備など）</li> <li>● いつでも座って休むことができる場所の創出（一定間隔でのベンチの設置など）</li> <li>● 身体活動・運動の促進（大通公園の四季を通じた身体活動※の場としての利活用など）</li> </ul>			
	b	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康増進に資する機能の導入（ランニングステーションやジムなどの機能の導入）</li> <li>● 大通公園と一体感を感じられるような設えの工夫（内装の木質化、低層部ににぎわい機能の導入、屋外テラスの設置など）</li> <li>● 建物の内部の活動が見える設えと使い方の工夫（屋内緑化によるみどりの連続性の創出など）</li> </ul>			

※「身体活動」：安静にしている状態より多くのエネルギーを消費する全ての動作のこと。



**将来像⑦ 【居心地がよく歩きたくなるまち】**  
 街区・道路・公園の一体感がある居心地がよく歩きたくなるまちが形成されている

		ゾーン毎に想定される主な取組例			
		西C	西B	西A	東
取組の方向	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歩行者動線と錯綜しない、共同荷さばきのためのスペースや動線の確保</li> <li>● 歩行者の多い路線への駐車場出入口設置の抑制</li> <li>● 周辺街区と連携した歩行者動線上の放置自転車対策</li> </ul>			
	b	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 道路空間の柔軟な利活用を想定した実証実験の実施</li> </ul>			
	c	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 沿道建物低層部でのにぎわいが連続する空間の創出（飲食店や物販店などの配置など）</li> <li>● 沿道建物内部の活気を感じられる設えの整備と使い方の工夫（壁面の透明化や通りに面した場所での活動など）</li> <li>● 立ち止まって休憩ができる場所の創出（座って憩える快適な公共的空間の創出など）</li> <li>● 大通公園の在り方の検討（公園敷地と隣接した歩道部分の活用の検討など）</li> </ul>			



### 将来像⑧ 【円滑な移動環境】

東西に長いはぐくみの軸を円滑に移動することができる

		ゾーン毎に想定される主な取組例			
		西C	西B	西A	東
取組の方向	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>●路上駐車対策などによる自転車が安全に通行できる空間の確保</li> <li>●円滑な移動を阻害しない位置への駐車場出入口の設置</li> <li>●周辺街区と連携した放置自転車対策の推進による歩行環境の確保</li> </ul>			
	b	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新幹線開業を見据えた創成川より東側地域の回遊性向上を目的とした公共交通システムの検討</li> </ul>			



### 将来像⑨ 【資源を活かした景観】

歴史的資源などを活かしたはぐくみの軸ならではの景観が形成されている

		ゾーン毎に想定される主な取組例			
		西C	西B	西A	東
取組の方向	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新築建物における大通公園や大通沿道の環境、そこでの活動に配慮した配棟の計画 (壁面セットバックを用いた大通公園や歴史的資源への配慮など)</li> <li>●新築建物における街並みと調和した建物の表情線の創出 (隣接建物と調和した低層部の軒高やオープンスペースの創出など)</li> </ul>			
	b	<ul style="list-style-type: none"> <li>●街並みや歴史的資源※などと調和した建物外観デザインの工夫</li> </ul>			

※札幌市資料館、大通公園のサンクガーデンなど      ※大通公園など      ※札幌市時計台、大通公園など



### 将来像⑩ 【連続的につながるみどり】

大通公園を中心に連続的にみどりの空間が形成されている

		ゾーン毎に想定される主な取組例			
		西C	西B	西A	東
取組の方向	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大通公園、創成川公園の連続したみどりを創成川より東側まで波及させる連続性のある空間の創出</li> </ul>			
	b	<ul style="list-style-type: none"> <li>●周辺の既存施設など※との繋がりを意識した道路緑化の強化や新たなみどりの創出</li> </ul>			

※北海道知事公館や北海道立近代美術館など      ※北海道庁旧本庁舎、北海道大学植物園、大通公園など      ※札幌市時計台や大通公園など      ※大通や豊平川など

### Ⅲ. 持続可能なまちづくり



#### 将来像⑪ 【脱炭素化の推進】

2050年のゼロカーボン都市の実現に向けた先進的な取組が進められている

		ゾーン毎に想定される主な取組例			
		西C	西B	西A	東
取組の方向	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建替え機会を捉えた、建物の省エネルギー化の推進</li> <li>● 既存建物における省エネルギー機器への転換</li> <li>● 各建物へのBEMS<sup>34</sup>等の導入による、エネルギーの最適利用の促進</li> <li>● 再生可能エネルギーや未利用エネルギーの積極的な活用（再エネ発電設備の設置やCGS排熱利用など）</li> <li>● 地域材を積極的に取り入れた建物内外装の木質化</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大規模開発の機会を捉えた面的エネルギーネットワークの構築、拡充（低炭素な熱利用の促進など）</li> <li>● エネルギーセンターを核としたAEMSの導入の促進（ICTを活用した効率的な電力利用の促進など）</li> </ul>			



#### 将来像⑫ 【防災機能の強化】

はぐくみの軸の防災機能が強化されている

		ゾーン毎に想定される主な取組例			
		西C	西B	西A	東
取組の方向	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CGSや非常用発電機などの分散電源の整備促進</li> <li>● 災害時に活用できる公共的空間の創出</li> <li>● 建物の耐震化の推進</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大規模開発の機会を捉えた面的エネルギーネットワークの構築、拡充</li> <li>● 大規模開発の機会を捉えた面的エネルギーネットワークの構築、拡充（強靱な熱利用の促進など）</li> <li>● 各建物へのBEMS<sup>36</sup>、エネルギーセンターを核としたAEMSの導入促進（強靱な電力利用の促進など）</li> <li>● 大通公園の防災機能の強化</li> <li>● 地下街の防災性向上（浸水対策の検討など）</li> </ul>			
	b	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域主体の防災に関する取組の強化（防災計画の策定など）</li> <li>● エリアマネジメント団体による防災訓練の実施</li> </ul>			

<sup>36</sup> 【BEMS】 Building and Energy Management System の略。ICT 技術を利用して業務用ビルの照明や空調等を制御するなど、室内環境とエネルギー性能の最適化を図るためのビル管理システム



## 第5章 重点的に進める取組

---

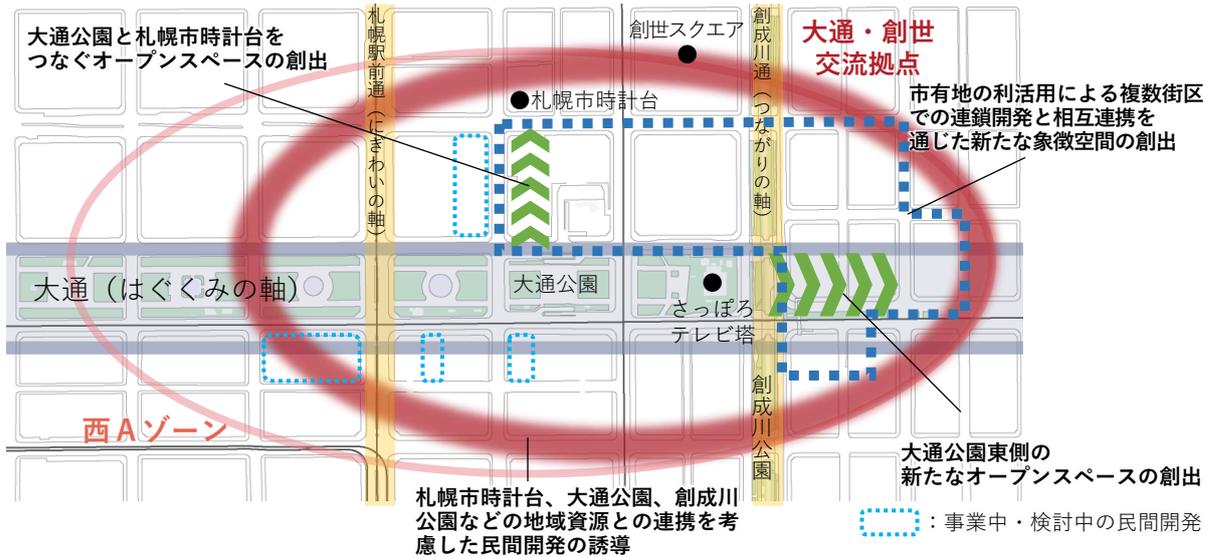
この章では、第2次都心まちづくり計画で定めるはぐくみの軸の考え方や第2次まちづくり戦略ビジョンにおける都市空間形成に関する考え方、本方針策定にあたり市民の意見の把握を目的として実施したオープンハウス※において、将来像のうち「象徴性」「居心地が良く歩きたくなるまち」「みどり」に多くの共感を得たことなどを踏まえ、「重点的に推進する取組」を設定します。

※オープンハウス：多くの人が集まるイベントや施設において説明パネルを展示し、事業概要を説明しながら意見を聴取する方法。本方針の策定にあたり実施したオープンハウスの結果は参考資料（77ページ）参照。

# 1) 大通・創世交流拠点における象徴的空間の創出

はぐくみの軸は、都心の南北を貫く都心まちづくりの骨格軸である「にぎわいの軸（札幌駅前通）」及び「つながりの軸（創成川通）」と交差しています。第2次都心まちづくり計画では、これらの交点周辺を「大通・創世交流拠点※」として位置付け、「都心における象徴的な都市文化拠点の創出」や「骨格軸を介した東西・南北市街地の連携・結びつきの強化」などを目指すこととしています。

「大通・創世交流拠点」は「西Aゾーン」に含まれおり、当該ゾーンでは民間主体の開発が進んでいます。さらに、札幌市時計台、大通公園、創成川公園などが集積し、札幌市役所本庁舎等が立地する市有地も含まれています。今後も、これらの周辺の環境を活かしつつ市有地の活用を検討し、民間開発と連動しながら、象徴的な都市空間を創出する取組を推進していきます。



## 当面の取組

- 市有地の利活用による複数街区での連鎖開発と相互連携を通じた新たな象徴空間の創出
- 札幌市時計台、大通公園、創成川公園などの地域資源との連携を考慮した民間開発の誘導
- 大通公園東側の新たなオープンスペースの創出
- 大通公園と札幌市時計台をつなぐオープンスペースの創出

※ 大通・創世交流拠点：第2次都心まちづくり計画で定める交流拠点（新たな活動や交流を生み出し都心全体のまちづくりを先導する拠点）の一つ。「質の高い文化的なライフスタイルを支える機能・空間の形成」を展開指針とし、「都心における象徴的な都市文化拠点の創出」「札幌の顔となる大通を基軸とした多様な活動、交流の創出」「骨格軸を介した東西・南北市街地の連携・結びつきの強化」などを旨とする。



札幌市時計台



大通公園西3丁目・さっぽろテレビ塔



札幌市役所本庁舎  
上記写真全て <資料>札幌市

## 2) 大通公園を中心とした東西方向へのまちづくりの波及

大通公園の西端を含む西Cゾーンは、強化の考え方として「都心西側の回遊拠点を形成し、美しいみどりや歴史・文化芸術を活かした多様な交流をはぐくむ」ことを掲げていますが、当該ゾーンのさらに西側にも北海道知事公館や北海道立近代美術館といった貴重なみどりのかたまりが見られます。そのため、はぐくみの軸のまちづくりの効果は「軸」の外側にも波及していく可能性があります。

一方、創成川より東側では、創成川より西側の大通公園から続くオープンスペースが創成川公園で途切れていることなどから、西側の活力を東ゾーンへつなげ、さらには豊平川まで引き込んでいくことが課題となっています。

はぐくみの軸の強化を通じ、大通公園を中心として東西方向へまちづくりの動きを波及させていくことを目指します。



### 当面の取組

- 大通公園西周辺エリア※のまちづくりビジョンの策定
- 地域特性を踏まえたさっぽろ芸術文化の館跡地の利活用の検討
- 創成川より西側のにぎわいを東側まで波及させる連続性ある空間の形成
- 東4丁目通の整備に合わせた南北の回遊性の向上

※ 大通公園西周辺エリア：第2次都心まちづくり計画上の都心まちづくりのためのターゲット・エリアの一つ。



北海道知事公館



北海道立近代美術館



東4丁目通の回遊性向上のための  
実証実験の様子

上記写真全て <資料>札幌市

### 3) 道路空間の利活用の検討

近年、地域課題の解決と新たな価値の創造のため、多様な人々による交流を促進させることが重要であるといった観点から、「居心地が良く歩きたくなるまちづくり」が注目されており、札幌市の最上位計画である第2次札幌市まちづくり戦略ビジョンにおいても、「居心地が良く歩きやすく楽しい、多様な活動ができる・滞留したくなる空間形成の推進」が掲げられています。

また、「居心地が良く歩きたくなるまちづくり」を実現していくための手法の一つとして、国内外において道路空間の利活用が進められています。

一方、現在の大通公園と沿道は、空間の形成や利活用に係る一体感が欠けているという課題があります。その原因としては、大通公園内の活動を沿道側の建物に取り込むといった機能的な連続性がないほか、駐輪・駐車車両や公園内トイレ背面の露出などにより景観が損なわれていることなどが挙げられます。

これらの「居心地が良く歩きたくなるまちづくり」や「大通公園と沿道の一体感の向上」を進めていくため、道路空間の利活用を検討していきます。検討にあたっては、必要な調査を行うほか、市民・企業・行政などの協働で実証実験などを実施し、課題や効果などを慎重に検証しながら進めます。

#### 当面の取組

- ・ 市民・企業・行政などの協働による道路空間を活用した実証実験と必要な調査の実施
- ・ 実証実験を踏まえた施策の検討、推進



道路空間を活用した実証実験の様子



道路空間を活用した実証実験の様子  
上記写真全て <資料>札幌市

## 4) 地域の取組の連鎖

現在 はぐくみの軸では、地権者が中心となったまちづくりの勉強会や、まちづくり団体が進めるエリアマネジメント活動など、地域の特性を活かしながら地域価値を向上させていく取組が進められています。今後はぐくみの軸の将来像を実現していくためには、まちづくりに関わる市民・企業・行政などが本方針の理念や将来像を共有し、それぞれの取組を進めていくことが重要です。

札幌市は、本章で掲げる「重点的に進める取組」をはじめ、将来像実現のための取組を主体的かつ積極的に推進していきます。また、市民・企業などに対し本方針の内容をご説明し、将来像を実現していくための方策について議論を重ね、新たな地域の取組の醸成や、取組の更なる深化を図っていきます。

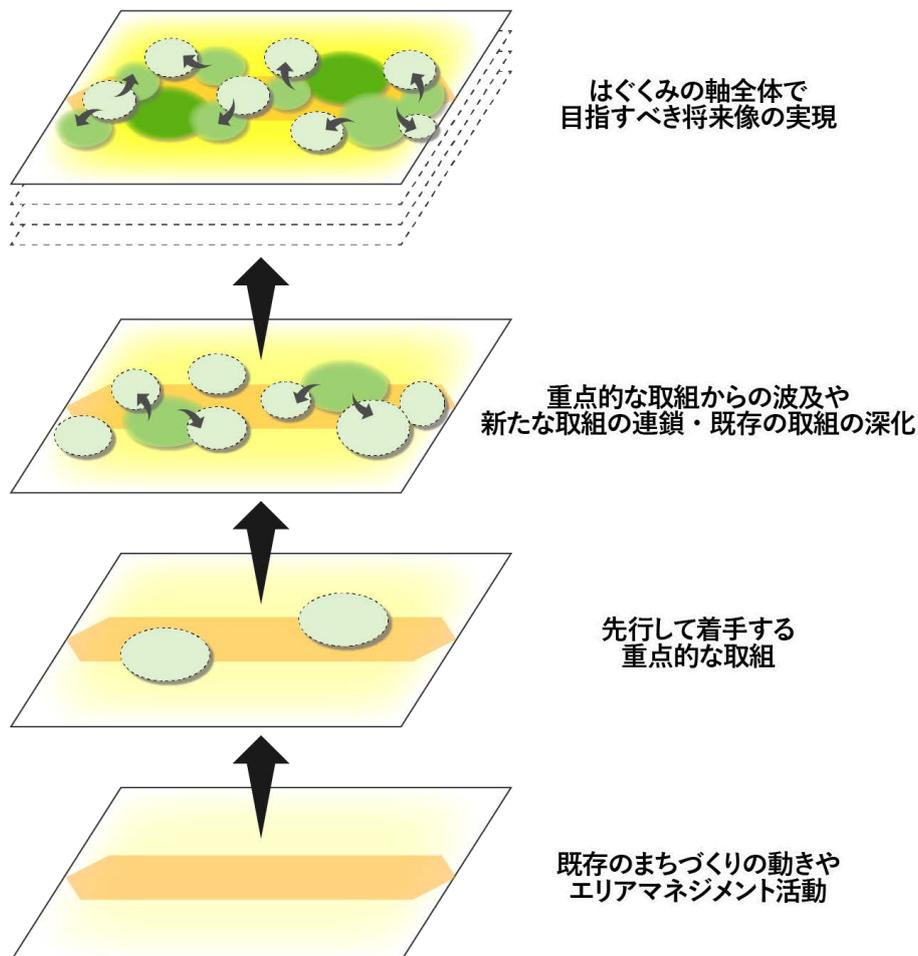
そして、地域主体の取組の間で相互に考え方などの連携・調整を図ることで、はぐくみの軸全体で一体感のある取組を連鎖的に展開していきます。

### 当面の取組

- 地域主体のまちづくりの勉強会などの支援
- 地区ごとのまちづくりルール※の策定に向けた誘導、調整
- 地区ごとのまちづくりルールなどを踏まえた都市計画制度の活用
- 本方針に沿った施策の検討、推進

※ 地区ごとのまちづくりルール：札幌市が定めたエリアマネジメントを念頭に置いたまちづくりルールなど

### ■ 取組の連鎖イメージ





## 第6章 取組の推進にあたって

---

この章では取組の推進にあたっての考え方を示します。

## 6-1. 市民・企業・行政などの協働

はぐくみの軸の将来像を実現していくためには、まちづくりにかかわる市民、企業、行政などが本方針を共有し、協働して取組を進めていくことが重要です。

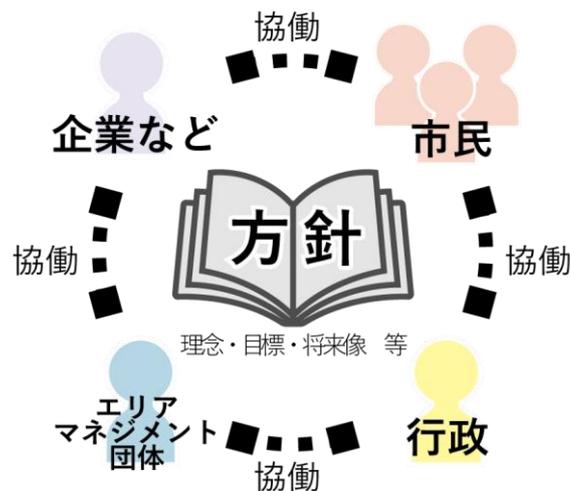
本方針に沿った取組の推進にあたっては、それぞれ以下のような役割を担って取り組んでいきます。

### 企業などに期待される役割

- 本方針に沿って建物の建替を計画する
- 本方針に沿って既存建物の改修を行う
- 本方針に沿って都市空間の活用を行う
- 将来像実現に向けた活動や議論に主体的に参加する

### 市民に期待される役割

- はぐくみの軸に愛着を持つ
- はぐくみの軸の魅力を国内外に発信する
- 将来像実現に向けた活動や議論に主体的に参加する



### エリアマネジメント団体に期待される役割

- 地域の価値を維持・向上させるため、市民・地権者等による主体的な取組を推進する
- まちづくりの担い手を育成する

### 行政の役割

- 市民・企業などに対し本方針の積極的な周知啓発を行う
- 札幌市の行政計画への本方針の考え方の反映や、本方針に基づく事業構築・制度の見直しなど、率先して将来像実現に向けた取組を推進する
- 市民、企業などの活動や相互の連携を支援・調整する

## 6-2. 段階的・総合的な取組の展開

将来像の実現に向けては、はぐくみの軸上で、次々と新しい地域主体の取組が生まれ、継続していくことが重要です。

そのため、札幌市は、本方針の積極的な周知啓発を図り、はぐくみの軸におけるまちづくりの機運醸成を図るほか、まちづくり勉強会などの地域主体の取組に初期段階から参加し、本方針に沿ったまちづくりを協働して進めていきます。

また、その過程では、必要に応じて、官民協働で公共的空間を活用した実証実験などを実施し、課題や効果などを慎重に検証しながら、段階的に検討を深めていきます。

そして、地区計画をはじめとした都市計画制度の活用を図るなど、まちづくりの気運醸成から取組の具体化まで、段階的かつ総合的に、地域主体の取組の展開を進めていきます。

## 参考資料

---



# ■ 展示パネル

## 大通沿道のまちづくり方針

札幌市では、都心の重要なまちづくりの基軸である「大通」に関してその沿道のまちづくりの方針を作成中です。この方針を「はぐくみの軸強化方針」と名付け、令和4年度の策定を目指しています。

今回のオープンハウスでは、**・検討中の方針の概要を皆様にご覧いただくこと**  
**・皆様にご意見をいただき方針に反映させること**を目的としています。

ご意見・ご質問は、お近くのスタッフまでお気軽にお寄せください。

写真：札幌市まちづくり政策局都心まちづくり推進室 TEL 011-211-2692

## はぐくみの軸ってなに？

### 都心のまちづくりの重要な「骨格軸」のひとつです

都心エリアは、札幌市の中心地であり、市民生活の中心地として重要な役割を果たしています。このエリアを「骨格軸」として、まちづくりを進めていきます。

札幌市資料館から豊平川辺りまでを東西に貫くエリアを指しています

札幌の発展を支えてきた象徴的な通りです

## まちづくりや社会の動き

沿道に建替え時期を迎えた建物が多くあります

人口減少・少子高齢化が進みます

まちの居心地の良さが求められています

脱炭素の取組の推進や災害に強いまちづくりが求められています

今後も、まちづくりや社会の動きに対応しながら大通の魅力を活かした取組を進めることが必要です

## 方針で目指すもの

### 策定の目的

- 大通公園等の地域特性を活かした沿道のまちづくりを促進
- 次の100年に向け札幌市民が世界に誇れる魅力と活力にあふれる札幌都心の実現

### 重視する視点

- 市民の愛着の醸成と魅力の発信
- より快適で豊かな暮らし
- 持続可能なまちづくり

### まちづくりの理念

**150年間ではぐくまれてきた大通の価値を再認識し**  
**100年先の未来を「はぐくむ」**

### 将来像の設定と取組の方向の整理

- 市民、事業者と共有する「12の将来像」を設定
- 将来像を実現するための「取組の方向」を整理

## はぐくみの軸12の将来像

まちづくりや社会の動きと照らし合わせ、市民生活の中心地としての魅力を再認識し、12の将来像を設定します。

- 【象徴性】** 大通が持つ札幌都心の象徴性が継承されている
- 【創造性】** 大通ならではの文化・魅力・活力が育ち、世界から投資や人材が呼び込まれている
- 【ライフスタイル】** 大衆らしい魅力あるライフスタイルが国内外に認識されている
- 【まちづくり】** 時代の流れに柔軟に対応した官民協働のまちづくりが認められている
- 【ユニバーサル】** 大通公園や沿道の公共空間などが全ての年代によって心地の良い場所として親しまれている
- 【健康的な暮らし】** 訪れる人の心の健康を醸成させる環境が整っている

## 12の将来像に関する特長

- 市民の愛着の醸成と魅力の発信に関する特長
- より快適で豊かな暮らしに関する特長
- 持続可能なまちづくりに関する特長
- 居心地の良さが求められるまち
- 脱炭素の取組の推進や災害に強いまちづくりが求められている
- 【象徴性】 大通が持つ札幌都心の象徴性が継承されている
- 【創造性】 大通ならではの文化・魅力・活力が育ち、世界から投資や人材が呼び込まれている
- 【ライフスタイル】 大衆らしい魅力あるライフスタイルが国内外に認識されている
- 【まちづくり】 時代の流れに柔軟に対応した官民協働のまちづくりが認められている
- 【ユニバーサル】 大通公園や沿道の公共空間などが全ての年代によって心地の良い場所として親しまれている
- 【健康的な暮らし】 訪れる人の心の健康を醸成させる環境が整っている
- 【象徴性】 大通が持つ札幌都心の象徴性が継承されている
- 【創造性】 大通ならではの文化・魅力・活力が育ち、世界から投資や人材が呼び込まれている
- 【ライフスタイル】 大衆らしい魅力あるライフスタイルが国内外に認識されている
- 【まちづくり】 時代の流れに柔軟に対応した官民協働のまちづくりが認められている
- 【ユニバーサル】 大通公園や沿道の公共空間などが全ての年代によって心地の良い場所として親しまれている
- 【健康的な暮らし】 訪れる人の心の健康を醸成させる環境が整っている

## 将来像の実現に向けて

### エリア特性に応じたまちづくりを進めます

各エリアの特性を活かしたまちづくりを進めます。

### 市民・事業者と協働でまちづくりを進めます

市民と事業者が協力してまちづくりを進めます。

「はぐくみの軸12の将来像」の共感できる項目に一人3つまで投票をして頂きました。結果は次のページの通りとなりました。

## 2. 将来像に対する意見

### ■「はぐくみの軸12の将来像」に対する投票結果

1日目

2日目

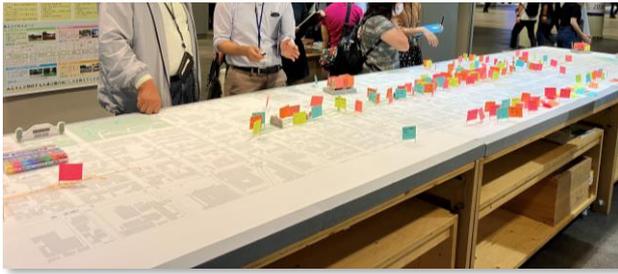


### ■得票数のまとめ

はぐくみの軸12の将来像 ※オープンハウス開催時の案	一日目	二日目	合計
①【象徴性】 大通がもつ札幌都心の象徴性が継承されている	62	82	144
②【創造性】 大通ならではの文化・魅力・活力が育ち 世界から投資や人材を呼び込んでいる	30	36	66
③【ライフスタイル】 大通らしい魅力あるライフスタイルが 国内外に認識されている	46	57	103
④【まちづくり】 時代の流れに柔軟に対応した 官民協働のまちづくりが進められている	24	23	47
⑤【ユニバーサル】 大通公園や沿道の公共的空間などが 全ての人々にとって居心地の良い場として親しまれている	66	65	131
⑥【健康的な暮らし】 訪れる人の心身の健康を増進させる環境が整っている	30	23	53
⑦【居心地がよく歩きたくなるまち】 大通沿道の一体的な空間を 安全・快適に楽しく回遊できる	71	99	170
⑧【快適な交通環境】 東西に長い大通を快適・円滑に移動することができる	41	52	93
⑨【都市の景観】 大通の資源を活かした はぐくみの軸ならではの景観が形成されている	39	34	73
⑩【みどり】 大通公園を中心に 連続的にみどりの空間が形成されている	72	82	154
⑪【脱炭素化】 2050年のゼロカーボン都市の実現に向けた 先進的な取組が進められている	29	22	51
⑫【防災】 大通の防災機能が強化されている	48	43	91

### 3. 寄せられた意見の一部

#### ■意見を書いた旗を立てた大判マップ



#### ■オープンハウス終了時の大判マップ（真上から撮影したもの）



#### 西Cゾーン周辺

- ✎ お弁当を食べたり休憩できるスペースがあると良い
- ✎ 子どもたちと過ごせる空間や、街中でピクニックができるエリアがあったらいい
- ✎ 静かな雰囲気がよい
- ✎ バラの花壇や札幌市資料館はもっとたくさんの人に来てもらいたい
- ✎ 札幌市資料館の窓から見る大通公園の紅葉が最高

など

#### 東ゾーン周辺

- ✎ 歩ける空間に座れる椅子がいっぱいほしい
- ✎ 歩道橋がなくても通れるようにしてほしい
- ✎ 明るい空間にして歩きやすくしてほしい
- ✎ 地上、地下にみどころがほしい
- ✎ 地下鉄バスセンター前駅からサッポロファクトリーまで地下通路で繋げてほしい
- ✎ 東側にもお店を作って、東8丁目まで賑やかになり、地上を歩く人が増えてほしい

など

#### 西Bゾーン周辺

- ✎ 沿道ビルから大通公園を眺めるスポットがほしい
- ✎ 大通公園沿道にテラスのあるレストランを作してほしい
- ✎ 道庁から大通公園までの動線を自然にしてほしい
- ✎ 体が不自由でも動きやすい環境にしてほしい
- ✎ 公園で静かに過ごせるようにイベントと棲み分けてほしい
- ✎ イベント時公園内が通りにくいので歩道が広い方がいい
- ✎ 子供が遊べて芝生やベンチで飲食しやすい環境にしてほしい

など

#### 西Aゾーン周辺

- ✎ 地下と地上にお店がいろいろある通りがあり、それらがこれからも楽しいものであってほしい
- ✎ 時計台の周囲にもっと緑が増えてほしい
- ✎ 今あるライラックや花などの緑を今後も大切にしたい
- ✎ エレベーターを増やしてほしい
- ✎ 東1丁目まで大通公園が広がってほしい
- ✎ 飲食や勉強・ワーク作業ができるテーブルと椅子がほしい
- ✎ イベント時に休めるところを増やしてほしい
- ✎ 大きなイベントだけでなく市民が気軽に使えるイベントもほしい

など

#### 特定のエリアに係らない意見

- ✎ 一年を通して散歩等で歩きやすい空間になってほしい
- ✎ ユニバーサルスタイルのまちづくりに力を入れてほしい。
- ✎ 半屋外空間屋根のあるスペースがあってもいい

など

# 皆さまからのご意見をお待ちしております

「大通及びその周辺のまちづくり方針—札幌都心はぐくみの軸強化方針—（案）」について、ご意見を募集いたします。

いただいたご意見は、本方針を策定するに当たり、参考とさせていただきます。

また、趣旨が同じご意見を集約した上で、ご意見に対する札幌市の考え方について、とりまとめて公表いたします。

## 意見募集期間

令和5年6月22日（木）～令和5年7月21日（金）〈必着〉

ヤマオリ②

料金受取人私郵便

札幌中央局  
承認

5637

差出有効期間  
2023年  
7月21日まで

切手不要



0608788

559

都心まちづくり課 行

札幌市まちづくり政策局 都心まちづくり推進室

札幌市中央区北1条西2丁目

キリトリ

キリトリ

のりしろ

ヤマオリ①

のりしろ

## 意見募集について

◆寄せられたご意見に対して個別に回答はいたしません。ご意見の要点をまとめ、それに対する市役所の考え方と合わせてホームページなどで発表します。

◆提出の際は、お名前・ご住所等をご記入ください。

## 提出方法について

### ① 郵送の場合

：このページを切り取り、裏面に「意見を記入の上、糊付けして封書とし、ポストに投函してください。」

※切手は不要です。

② FAXの場合：011-218-5112

③ Eメールの場合：kidowntown@city.sapporo.jp

※方針名（札幌都心はぐくみの軸強化方針）が分かるよう、メールアドレスや本文などに明記してください。

※お名前・ご住所・年齢を忘れず記載してください。

④ ホームページの意見募集フォームから送信する場合

<https://www.city.sapporo.jp/kikaku/downtown/plan/hagukumi.html> からアクセスしてください。

直接お持ちいただく場合

⑤：まちづくり政策局都心まちづくり推進室都心まちづくり課までお持ちください。

※受付時間は、平日の午前8：45～午後5：15までです。

## お問い合わせ先

札幌市まちづくり政策局都心まちづくり推進室  
都心まちづくり課

### ◆住所

：札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎5階南側

◆電話：011-211-2692

札幌都心はぐくみの軸強化方針

検索

6-2110

6-2110

